

愛知の土地改良

理事会・支会長会議・参与会	2	事業情報	9
叙勲	3	広報活動	10
要請活動	4	お知らせ	11
研修会	7		

vol. **214**
令和7年9月号



田んぼアート

制作：茶屋新田んぼアート実行委員会（名古屋市港区）

令和7年度 第1回 理事会開催

8月18日(月)、第1回理事会を、愛知県土地改良会館7階大会議室において開催した。

中野治美会長の挨拶の後、本会参与の下平達也愛知県農林基盤局長よりご挨拶をいただき、議事に入った。提出した下記議案は、いずれも原案どおり可決承認された。

記

- 第1号議案 令和6年度事業報告並びに一般会計収支決算及び財産目録の承認について
- 第2号議案 愛知県土地改良事業団体連合会事務局規程の一部変更について
- 第3号議案 土地改良区機能強化支援事業強化委員会設置運営規程の一部変更について
- そ の 他 (1)本会役員研修会(全国土地改良大会佐賀大会)について
(2)要請活動について



令和7年度 第1回 支會長會議開催

7月9日(水)、第1回支會長會議を、愛知県土地改良会館7階大会議室において、中野治美会長(海部支會長)、三浦孝司副会長(豊田支會長)、穂積英一名古屋副支會長、竹田和弘一宮副支會長、神長健一半田支會長、浅井喜代治幡豆支會長、土屋浩豊橋支會長出席のもと開催した。

提出した下記議案は、いずれも原案どおり決定された。

記

- 協議事項 (1)理事会について
(2)その他



令和7年度 第1回 参与会開催

7月22日(火)、第1回参与会を、愛知県土地改良会館6階第1研修室において開催した。

中根俊樹専務理事の挨拶の後、参与を代表し、下平達也愛知県農林基盤局長よりご挨拶をいただき、議事に入った。

提出した議案は8月18日開催の理事会に提出する、令和6年度事業報告並びに一般会計収支決算等が協議された。また、本会役員研修会として参加する全国土地改良大会佐賀大会の内容及び行程、農林水産省並びに関係国会議員への要請活動について現状を報告した。



叙勲

春の叙勲

政府は令和7年4月29日付で令和7年春の叙勲の受章者を発表しました。

土地改良関係者からは竹内啓二 愛知用水土地改良区理事長が旭日小綬章を、吉川靖雄 元八開村土地改良区理事長が旭日単光章の栄に浴されました。

このたびの栄えある受章を心からお慶び申し上げ、益々ご壮健でご活躍されますようお願いいたします。



竹内 啓二 様
愛知用水土地改良区理事長



吉川 靖雄 様
元八開村土地改良区理事長

農業農村整備事業に関する重点要請活動

6月9日(月)、東海農政局において、中野治美会長より令和8年度農業農村整備事業に関する22項目の重点要請を、秋葉一彦東海農政局長を始め局幹部職員へ実施した。



東海農政局幹部への要請



秋葉東海農政局長に要請書を手交

要請書

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

土地改良関係の予算は、令和6年度の補正予算2,036億円と、令和7年度の当初予算4,464億円を合わせて6,500億円を確保し、平成21年度の当初予算を上回る対応に重ねてお礼を申し上げます。

しかしながら、地域ニーズに応じた事業を安定的、計画的に展開するためには、農業農村整備事業の当初予算の安定的な確保が不可欠であります。当初予算の割合は、平成21年度当初比で77%に留まっています。

本県は、古くから木曾川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水路が開削され、戦後は愛知用水を始め、各水系で大規模水利事業を展開してきたことにより、農業産出額で全国8位、中部地方最大の農業県であり、これを支えていくためにも、計画的かつ着実に農業生産基盤の整備を進めていかなければなりません。

これらの大規模な水利施設を、更に機能的かつ高度に活用し、維持・更新をしていくためには、国営事業・水資源機構営事業を着実に推進していただくと共に、その他の施設についても、適切な時期に次代を見据えた更新や機能保全対策を実施していく必要があります。

特に、本県の農業を飛躍的に発展させた水資源機構施設はこれまでも整備が進められてきましたが、このうち、木曾川用水施設は長年に亘る地盤沈下等による機能低下が生じていることから、着実な事業実施をする必要があります。また、愛知用水及び豊川用水施設は、農業用水の安定供給のため、老朽化対策のみならず耐震対策を計画的に進める必要があります。

また、近年の自然災害の発生状況や大規模地震発生の将来予測を踏まえ、安定した農業経営、農村の安全・安心の暮らしの実現のため、防災減災に資する農業水利施設や農業集落排水施設の地震・豪雨対策の計画的な整備が喫緊の課題であります。

今回、こうした課題や地域のニーズに応えるべく、3つのテーマで合わせて22項目の重点要請を行いたいと思います。愛知県土地改良事業団体連合会は、今後も国・愛知県と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく所存でありますので、格別のご高配をお願いいたします。

令和7年6月

愛知県土地改良事業団体連合会
会長 中野治美

重点要請22項目

I 地域ニーズに応じた農業農村整備事業の展開について

- 1 農業集落排水事業の地元負担の軽減について
- 2 FRPM管の漏水事故による第三者被害の防止について
- 3 農業水利施設の強靱化の推進に向けた農地防災事業の制度拡充について
- 4 水資源機構営事業の制度拡充について

II 農業の成長産業化、国土強靱化に資する農業農村整備事業の促進について

- 1 農業生産基盤整備の促進について
- 2 国土強靱化に資する農地防災事業の促進について
- 3 農地防災事業の効率的な実施に向けた設計基準等の改定について
- 4 中山間地域における土地改良事業の促進について
- 5 農業農村整備事業における費用対効果の分析手法の改善について
- 6 多面的機能支払交付金による地域の共同活動の着実な促進について
- 7 土地改良施設維持管理適正化事業の促進について
- 8 水利施設管理強化事業の促進について

III 暮らしを支える大規模水利施設の耐震化及び更新整備について

- 1 明治用水頭首工地区 土地改良施設突発事故復旧事業の推進について
- 2 矢作川総合南部地区 土地改良施設突発事故復旧事業の推進について
- 3 国営総合農地防災事業 新濃尾地区の推進について
- 4 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区の推進について
- 5 国営土地改良事業 矢作川沿岸地区の早期着工について
- 6 国営施設機能保全事業 尾張西部地区の推進について
- 7 宮田用水施設における地域整備方向検討調査の着実な推進について
- 8 水資源機構営 豊川用水二期事業の推進について
- 9 水資源機構営 木曽川用水濃尾第二施設改築事業の推進について
- 10 水資源機構施設の更新整備について

6月18日(水)には、農林水産省農村振興局において、中野治美会長により同内容の要請について、^{せいやま}青山健治農林水産省農村振興局次長を始め農村振興局幹部職員への要請活動を実施した。また、関係の国会議員に対しても要請活動を行った。



青山農村振興局次長に要請書を手交



進藤金子参議院議員に要請書を手交

農業農村整備の集い

―農を守り、地方を創る予算の確保に向けて―

6月18日(水)、東京都千代田区の砂防会館別館シェーンバッハ・サバーで農業農村整備の集いが開催された。

この集いは、全国の土地改良関係者が一同に会し、現下の情勢を共有した上で、農業農村整備の一層の推進を図っていくことを目的に春・秋と2回開催されており、会場には全国から土地改良関係者が約1,200名参集した。本県からは、中野治美会長始め、本会会員、愛知県農林基盤局より30名が参加した。

冒頭、二階俊博全国水土里ネット会長は、「食料安全保障の確保のために、農業の構造転換を強力に進める必要がある。既存の土地改良予算に加えて、別枠予算を確保していただくことが重要であり、そのためにも土地改良団体もしっかり頑張っていかなければならない。」と訴えた。

続いて、滝波宏文農林水産副大臣が、「今年度、農業農村整備関連予算は、当初予算と前年度補正予算等合わせて対前年260億円増の6,500億円を確保した。農業の構造転換を集中的に進めるとともに、国土強靱化をより一層進めるために今後しっかりと必要な予算を要求していく。農業の生産基盤の強化をしっかりと進め、農業を成長産業化し、美しく豊かな農村を次世代に継承するために今後とも防災減災・国土強靱化対策を含め農業農村整備事業を推進していく。」と述べられた。

また、進藤金日子参議院議員(都道府県土連会長会議顧問)からも祝辞が述べられ、安定的な予算確保や土地改良事業の更なる推進への尽力を誓った。その後、宮崎雅夫参議院議員(都道府県土連会長会議顧問)より情勢報告が行われた。



二階全国水土里ネット会長による主催者挨拶



進藤参議院議員による挨拶

小泉進次郎農林水産大臣、森山裕自由民主党幹事長はじめ多数の国会議員が駆け付ける中、最後に、予算の確保へ向けての“ガンバロウ三唱”が、あおり水土里ネット女性の会、青年部会により発声され、土地改良団体の更なる活性化のため、一致団結することを誓い閉会した。



ガンバロウ三唱

令和7年度

新規担当者向け研修会



中根専務理事による講義



小柳津課長補佐による講義



竹内氏による講義

5月21日(水)、愛知県土地改良会館7階大会議室において、「新規担当者向け研修会」が本会会員38名、水土里ネットあいち職員4名の総勢42名出席のもと開催した。

研修会は中根俊樹専務理事より水土里ネットの役割についての講義の後、愛知県農地計画課小柳津貴宏課長補佐より土地改良法の基礎についての講義が行われた。

また、午後からは、「新入社員ビジネスマナー研修」「メンタルヘルスの重要性(自己管理)」「ハラスメント対策」の3つをテーマに、オフィス・ウィズ代表取締役竹内和美氏をお招きし、名刺の受け渡しの実践練習、職場でのコミュニケーションと基本姿勢、ストレスとの向き合い方やハラスメント対策などを講義していただいた。

参加者からは「自分たちの仕事についての背景知識をわかりやすく学べ、より一層土地改良事業や施設の重要性を理解した」、「実践練習が多く、内容も社会人に必要なものばかりでとても勉強になった」など様々な声が聞かれ、大変有意義な研修会となった。



ビジネスマナー研修講義

研 修 内 容

講 師 (敬称略)

開 会	水土里ネット愛知 専務理事	中 根 俊 樹
土地改良とは? ー水土里ネットの役割ー		
土地改良法の基礎	愛知県 農林基盤局 農地部 農地計画課長補佐	小 柳 津 貴 宏
新入社員ビジネスマナー研修 ※社会人としての心得・礼儀・作法等からコミュニケーション力の応用まで		
メンタルヘルスの重要性(自己管理)	株式会社オフィス・ウィズ 代表取締役	竹 内 和 美
ハラスメント対策 ※カスタマーハラスメント対応		
閉 会	水土里ネット愛知 事務局長	佐 藤 広 尚

令和7年度

「あいち水土里ネット女性の会」総会及び研修会

7月8日(火)、愛知県土地改良会館7階大会議室において、「令和7年度 あいち水土里ネット女性の会総会及び研修会」を県内土地改良区等の女性理事・職員57名出席のもと開催した。

最初に加藤里恵会長の挨拶のあと、中根俊樹専務理事よりご挨拶をいただいた。

提出議案である「令和6年度活動報告について」「令和7年度活動計画について」は、いずれも可決された。また、運営委員の改選も行われた。

総会終了後、独立行政法人 水資源機構豊川総合管理所調整課 長谷川有花主査による「スローワーク×スローライフって？」講演及びkaz様による仕事の合間にできるストレッチの実演を開催した。



加藤会長による挨拶



長谷川主査による講演



kaz様による実演



水土里情報システム操作研修会 開催

水土里情報システムを用いて業務の効率化を図るための実務的な研修として、システム利用者に対する研修会を以下の内容にて実施した。

日程	対象	研修内容
6月25日(水) ～7月1日(火)	システム利用中の 26団体 (41名参加)	・認証 ・画面構成 ・表示パターン管理 ・計測 ・属性表示 ・塗り分け ・ラベル表示 ・検索 ・メモの作成 ・印刷等 ・直接編集 ・データー括入力
7月2日(水) ～4日(金)	愛知県職員 (18名参加)	・県事業情報の運用 ・新規地区作成及び継続地区更新 ・認証 ・画面構成 ・表示パターン管理 ・計測 ・属性表示 ・塗り分け ・ラベル表示 ・検索 ・メモの作成 ・印刷等



土地改良区機能強化支援事業 情報

令和7年度 愛知県受益農地管理強化委員会

6月11日(水)、本会6階第1研修室において愛知県受益農地管理強化委員会を開催し、下記の議案について協議し、承認された。

記

- 1 令和6年度受益農地管理強化対策実績報告並びに収支決算について
- 2 令和7年度受益農地管理強化対策実施計画並びに収支予算について
- 3 遅延地区について

令和7年度 愛知県管理運営体制強化委員会

6月11日(水)、本会6階第1研修室において愛知県管理運営体制強化委員会を開催し、下記の議案について協議し、承認された。

記

- 1 令和6年度施設・財務管理強化対策実績報告並びに収支決算について
- 2 令和7年度施設・財務管理強化対策実施計画並びに収支予算について
- 3 指導監査について

令和7年度 あいちの農業用水展



愛・地球博記念公園とイオンモールNagoya Noritake Gardenで開催!

「水の週間」に関連して、8月2日(土)から8日(金)にかけて愛知県、水土里ネット愛知、(公財)愛知・豊川用水振興協会主催(愛知県農業土木測量設計技術研究会共催)で、「あいちの農業用水展」を愛・地球博記念公園とイオンモールNagoya Noritake Gardenで開催した。

「あいちの農業用水展」は、県内の農業用水の歴史と変遷等をパネルにより時代を追って紹介することにより、先人の努力の積み重ねにより育まれてきた「水」の重要性について広く一般に周知し、関心を高めてもらうことを目的として毎年開催している。

8月2日、3日は愛知万博20周年記念事業「愛・地球博20祭」の連携イベントとして開催した。愛知県内の農業用水に関するパネル展示や、水土里ネット愛知のブースでは体験イベントとして「用水いきものカード釣り」を行い、多くの来場者に体験していただいた。

8月4日～8日はイオンモールNagoya Noritake Gardenで開催し、県内の大規模農業用水の紹介や農業水利施設の役割などに関するパネル展示を行い「農業用水」の歴史について学んでいた。また、

体験イベントを開催した2日、3日にはにぎわいが絶えることなく、イベントは盛況のうちに幕を閉じた。



パネル展示



用水いきものカード釣り

第24回 あいちの農業・農村フォトコンテスト募集



活力ある「あいちの農業・農村」を広く一般にアピールし、愛知県の農業農村整備を強く推進していくため、以下のテーマにてフォトコンテストを開催いたします。ふるってご応募ください。

テーマ 『水土里が息づく景観と共にある土地改良施設』

賞

水土里フォト大賞	1点(賞状、副賞3万円)
水土里フォト優秀賞	2点(賞状、副賞1万5千円)
豊かな農地あいち特別賞	1点(賞状、副賞1万円)
水土里フォト入選	10点(賞状、副賞5千円)
水土里フォト四季賞	4点(賞状、副賞5千円)
多面的機能共同活動賞	3点以内(賞状、副賞5千円)
水土里フォト参加賞	参加者全員(記念品)

応募締切

令和7年10月31日
(当日消印有効)

詳細は、水土里ネット愛知ホームページをご覧ください。



<https://www.aichi-doren.or.jp/photo-contest24/>

令和7年度 田んぼアート観察会

名古屋市

7月6日(日)茶屋新田田んぼアート実行委員会主催(構成団体:茶屋新田地域資源保全隊、愛知県、名古屋市)による「令和7年度田んぼアート観察会」が名古屋市港区茶屋において開催された。

「田んぼアート」の製作は今回で14回目を迎えた。今年は、風神雷神がモチーフとなっている。

当日は晴天にも恵まれ多くの親子連れでにぎわい、訪れた来場者は観察用の高台から田んぼアートの見事な出来栄を堪能されていた。

なお、今後の行事として、10月13日(月・祝)に稲刈り、12月14日(日)には収穫祭が予定されている。



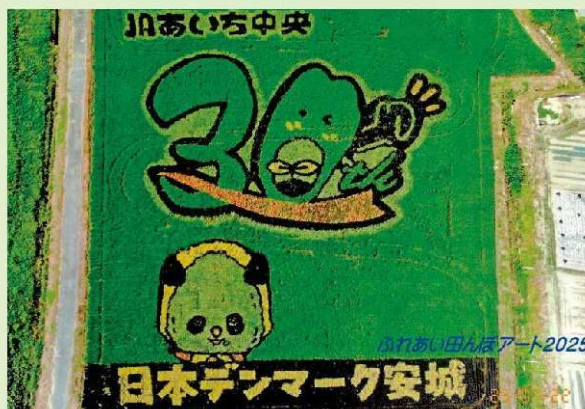
名古屋市田んぼアートの全景

安城市

7月19日(土)ふれあい田んぼアート実行委員会主催による「ふれあい田んぼアート2025鑑賞会」が安城市和泉町セツ田において開催された。

今年で18回目を迎えるふれあい田んぼアートは「JAあいち中央誕生30年」を記念し実施された。30thの文字とJAあいち中央のキャラクター「マイマイ」を盛り込んだ絵柄となっている。

当日訪れた来場者は、高所作業車から絵柄を鑑賞されていた。



安城市田んぼアートの全景

令和7年度 水土里レポーター

21世紀土地改良区創造運動の更なる浸透を図るため、地域の情報を発信していただく水土里レポーターが全国で活躍しています。令和7年度の本県のレポーターは、以下の水土里ネット職員の方にそれぞれ委嘱しご協力いただいております。今後の地域からの情報発信についてよろしくお願いいたします。

■水土里ネット南陽	主査	安達直子
■水土里ネット愛知用水	総務課長	鈴木英典
■水土里ネット豊田	工務課係長	加藤利明(敬称略)

全国から投稿された発信情報は、新・田舎人フォーラム(全国水土里ネットホームページ)に掲載されております。本県レポーターの発信情報も掲載されていますので是非ご覧ください。



<https://www.inakajin.or.jp/>

農業基盤整備資金の金利のご案内

令和7年8月19日現在の株式会社日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。

金利は金融情勢により変動します。詳しくは名古屋支店(TEL052-582-0741)までお問い合わせください。

区 分	融資期間にかかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年
補助事業 県営	2.15%	—	—	—	—
団体営	2.00%	—	—	—	—
非補助事業 一般	2.00%	—	—	—	—
災害復旧	—	1.15%	1.45%	1.85%	2.00%

農林水産大臣感謝状贈呈式

令和7年6月3日(火)、東海農政局第1会議室において、令和6年度能登半島地震農林水産施設等の応急復旧等協力団体への農林水産大臣感謝状贈呈式が行われた。

令和6年に発生した能登半島地震後、農林水産省の要請に応じ、本会の技術職員が農業集落排水施設管路の被災状況確認や点検、農業用施設及び農地の災害復旧事業査定設計書の作成等の応急復旧に向けた、現地支援を行った。

七尾市始め4市町村において一次調査(1月29日～2月10日)、二次調査(2月19日～24日)の計3週間にわたり、延べ38名の職員を派遣し集落排水施設の被災状況確認及び点検等を行った。また、志賀町のNN関連施設の復旧に向けた応援要請においては、11月5日～27日までの約1か月間、延べ52名の職員を派遣し、農業用施設及び農地の査定設計書作成を行った。

このような支援が、施設等の被害把握や応急対策に迅速に対応し、被災地の復旧につながったとされ、本会に感謝状が授与された。



農林水産大臣感謝状贈呈式
(左:秋葉局長、右:中根専務)

研修会のご案内

研修会・催し名	開催月日	対象者
水土里ネット女性理事意見交換会(東海ブロック)	9月25日(木)	市町村、水土里ネット職員
水土里ネット事業視察研修会	10月30日(木) 31日(金)	事業実施会員役職員
農地・水・環境のつどい	11月3日(月)	多面的機能活動組織等
農業用排水機具営移管期成同盟会事業視察研修会	11月20日(木) 21日(金)	同盟会会員役職員
水土里情報システム応用操作研修会	11月予定	水土里情報加入団体職員
適正化事業加入団体現地研修会	12月予定	市町村、水土里ネット職員
技術実践向上研修	年内	市町村、水土里ネット職員
水土里ネット役職員研修	令和8年1月予定	水土里ネット役職員

残暑お見舞申し上げます。

水土里ネット愛知 会長 中野治美
役職員一同



みどり
水土里ネット愛知
愛知県土地改良事業団体連合会



〒451-0052 名古屋市西区栄生一丁目18番25号
https://www.aichi-doren.or.jp
E-mail:midori-net@aichi-doren.or.jp

総務部 総務課
052-551-3611 (FAX052-551-3630)

事業部 計画課
052-551-3614・3620・3621・3626 (FAX052-551-3631)
整備課
052-551-3616・3622・3639 (FAX052-551-3632)
地域保全課
052-551-3618・3623 (FAX052-551-3634)
ため池サポートセンター
052-551-3613 (FAX052-551-3634)
施設管理課
052-551-3637・3638 (FAX052-551-3634)

